

令和6年度 校長より ⑬

本校の芸術鑑賞会は2年に1回行われています。11月6日(水)に、鎌倉芸術館において1・2年生を対象に能・狂言教室が行われました。全ての生徒が初めての鑑賞となるため、前週に事前学習を学校で行い臨みました。演目は狂言が「仏師」能が「葵上」でしたが、600年以上もの長い間演じ継がれてきた古典劇にかえて新鮮さを感じる生徒も多かったのではないのでしょうか。鑑賞の仕方に苦しんだり諦めたりした生徒もあったことと思いますが、室町時代のミュージカルが能、ドラマが狂言であったと理解できれば、この世界を少しずつ鑑賞できるようになるでしょう。生徒の皆さんには、貴重な経験を日頃の学習と関連付けながら、自分にとって豊かな学びにしてほしいと思います。

平日にも関わらず中学生6名にご来校いただきました。11月7日(木)は、平塚市立浜岳中学校から2年生男子3名女子3名による学校訪問を行っていただきました。おそらく「総合的な学習の時間」などにおけるキャリア教育の一環として行われているものと思います。大会議室で本校の様子わかる動画を視聴していただいた後に、授業の様子や施設・設備の状況を見学いただきました。中学校から遠い所まで6名もの生徒さんたちにお越しいただき誠にありがとうございました。早いうちから本校を第一希望とっていただけるように、中学生たちの声も聴きながら、今後も広報活動に取り組んでまいりたいと思います。

小春日を思わせる天候の中、落ち着いた私服に包まれた生徒たちが鶴岡八幡宮に集まりました。11月13日(水)は、1年生を対象に「鎌倉探索」が実施されました。「鎌倉探索」は、「総合的な探究の時間」の一環として、SDGsを踏まえたグループ研究を行うことを目的に、フィールドワークとして実施しているものであり、年度末に向けて、データの分析、結果と考察の整理、研究発表を行うこととなっています。また、2年生以降は、この経験を足掛かりに、大学受験時の論文作成や大学進学後の課題研究を見据えた学習活動へと発展させていくこととなります。生徒たちには、「総合的な探究の時間」を中核とし、日々の様々な教育活動と関連を図りながら、3年間かけてしっかりとした「統合知」を身に付けるように取り組んでほしいと思います。

「鎌倉探索」と同日、学校では県内の教科研究会に所属する英語科の教員が参加し、海鋒教諭による公開研究授業が行われました。研究授業や研究協議の実施は、教員の授業力向上と生徒の学力向上に直接結び付いていきます。今後も本校でこうした機会を積極的につくれるように取り組んでいきたいです。

令和6年11月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆